

GP

全グラ情報

JAPAN



信頼がつなぐ、未来への挑戦

関西グラビア協同組合
理事長 高桑真樹



世界情勢の不安定化が続く中、私たちを取り巻く経営環境もまた、これまで経験したことのない局面を迎えています。

ロシア・ウクライナ問題、そして中東情勢の緊迫化は、単なる遠い国の出来事ではなく、エネルギー価格、原材料価格、物流、為替などを通じて、私達の日々の事業活動に直接的な影響を及ぼしてきました。原材料が思うように入らない、納期が読めない、価格改定が追いつかない等々、少し前なら通常時では考えられなかったような動きが現実となり、業界全体が大きな変化と混乱の中に置かれています。

グラビア印刷業界においても、需要構造の変化、人材不足、設備投資負担の増加に加え、業界の再編やM & A、さらには倒産という厳しい現実に向き合う場面も増えてきました。不透明感と不確実性は依然として高く、先を読むことが難しい時代が続いています。しかし、そのような状況だからこそ、改めて気づかされたことがあります。

それは、人と人、企業と企業の「信頼関係」の価値です。厳しい環境の中でも、事情を理解し、共に知恵を出してくださるお客様、安定供給に向けて尽力いただいた仕入先様、限られた条件の中でも支えてくださったメーカーの皆様には、感謝してもしきれません。

振り返れば、それは決して当たり前のことではなく、それぞれが自社の事情や苦労を抱えながらも、互いを思いやり、支え合っていたいただいた結果であったと感じています。こうした皆様との関係があったからこそ、多くの企業が苦しい局面を乗り越えてこられたのではないのでしょうか。

平時には見えにくかった相互信頼や支え合いの大切さを再認識できたことは、決して小さな発見ではありません。この関係性は一時的なものではなく、これから先も感謝の気持ちを忘れずに、大切に育み、継続して行くべき会社の、業界の財産だと感じています。

困難な時代だからこそ、人のつながりや信頼の重みを改めて教えていただいたように思います。「ありがとうございます。」

そのことを考える中で、現在行われているサッカーワールドカップの戦いにも大きな示唆を感じました。

先日、日本代表は決勝トーナメント初戦でブラジルに敗れ、世界一への挑戦はここで幕を閉じました。しかし、その戦いぶりは結果だけでは語れないものだったように思います。

世界屈指の強豪を相手に、最後まで諦めず、一人ひとりが役割を果たし、仲間を信じ、連携し、結束力、規律、献身性は、勝敗を超えて世界に誇れるものであり、私は世界一を目指すチームとして胸を張れる戦いだったと感じています。

スター選手一人の力だけでは勝てない。個の力はもちろん重要ですが、それを活かす組織力、世代を超えて積み上げてきた経験、支えるスタッフ、分析、準備、そして全員が同じ方向を向く一体感があって初めて大きな成果につながる。これは私達の業界にも重なる姿ではないでしょうか。

営業、製造、品質、技術、管理、お客様、協力会社、メーカー、それぞれが持つ力を掛け合わせ、会社全体としての総合力を高めること。そして企業同士が必要な情報を共有し、業界全体として支え合い、連携して行くこと。その積み重ねこそが、不確実な時代を乗り越える力になると考えます。

日本代表の戦いから、私達は力と勇気、そして将来への可能性と夢を受け取りました。厳しい環境にあることに変わりはありません。しかし、厳しい時代だからこそ、人とのつながりや団結の価値、そして、支え合いへの感謝の気持ちを持てるかどうか問われる時代でもあります。個の力を磨きながら、チームとして、会社として、そして業界として一丸となる。私達もまた、それぞれの持ち場で力を合わせ、次の時代へ向かって挑戦を続けて行きたいと思います。

未来は待つものではなく、つくるものです。不確実な時代だからこそ、互いを信じ、力を合わせ、一社一社、一人ひとりの挑戦を積み重ねながら、業界の次の時代をともにつくって行きましょう。

組合員・単組の近況

関東グラビア協同組合

定例理事会を開催

関東グラビア協同組合（吉原宗彦理事長、東京加工紙㈱）は、2026年7月9日（木）午後3時～5時10分まで、9名の理事・監事の出席の下、組合事務所とZoomにて定例理事会を開催した。

冒頭の挨拶の中で吉原理事長が、「異常・過剰品質について、印刷工業会、TOPPAN、DNP、日印産連、関東グラビア協同組合青年部で取り組み、まとめなおして再度経済産業省に伺う段取りなので、皆さんにも協力をお願いしたい」と述べた。また、半導体業界における日本企業とTSMCの違いについて、「日本は歩留まり6割、4割ロスで設計されているらしいが、TSMCは歩留まり8割、ロス2割以下に設計段階から作っており、それによりコストも良くなる。そこが一番の違い。品質に対して厳しいことには変わらないが、線引きをしっかり行っている」といった話を紹介。「我々の異常・過剰品質にも通じる。これに取り組むことで大きく改善されるのではないか」と話した。

下田幸二専務理事より、事務局の戸部初雄さんの紹介に続き、新規加入企業審査が行われ、㈱マルタカ、㈱セイユー、㈱トーショー、㈱セキネの4社が満場一致で承認された。引き続き、5月14日の関東グラビア協同組合通常総会、6月11日・12日の全国グラビア協同組合連合会通常総会（北海道）の開催報告があった。全グラ総会については今後の地方開催について意見が交わされた。6月29日開催の関東グラビア協同組合セミナーについては、会場とオンライン合わせて約110名の参加のもと盛況であったと報告があった。その他、7月23日開催の中災防「新たな化学物質管理規制」に関わるWEBセミナー、（一社）印刷技能人材機構総会、日印産連「印刷の月」印刷功労賞への推薦者の報告などについて説明があった。

吉原理事長より外国人日本語能力試験についてのコメントや、田口薫顧問、安永研二副理事長より、異常・過剰品質に関する取り組みの進め方などについて補足説明があり、情報共有が行われた。

出席理事・監事	事務所
	吉原宗彦理事長（東京加工紙㈱）
	安永研二副理事長（東包印刷㈱）
	川田雄治副理事長（トーホー加工㈱）
	田口薫顧問（大日本パッケージ㈱）
	諸石武士理事（日本パッケージング㈱）
	佐藤裕芳監事（㈱千代田グラビヤ）
	岸本一郎監事（㈱カナオカ）
	下田幸二専務理事（関東グラビア協同組合）
	Zoom
	柴田里香理事（弁護士）

GP JAPAN

全グラ情報

2026 年 8 月号 No.309 全国グラビア協同組合連合会

今月の表紙



上段左：関西グラビア協同組合青年部通常総会、右：関東グラビア協同組合定例理事会、下段左：関西グラビア協同組合理事会・田口会長を迎えての意見交換会、右：関東グラビア協同組合青年部通常総会の様子

CONTENTS

巻頭言 信頼がつなぐ、未来への挑戦 ①

関西グラビア協同組合 理事長 高桑真樹

組合員・単組の近況

関東グラビア協同組合：定例理事会を開催 ③

関東グラビア協同組合：取適法、印刷産業の環境、育成就労をテーマに
セミナーを開催 ⑥

関西グラビア協同組合：理事会および田口会長講話・意見交換会を開催、
適正価格転嫁と商慣習見直しに向けた業界課題の共有 ⑫

関東グラビア協同組合青年部：第27回通常総会報告 ⑭
報告者：サカティンクス(株) 蓬澤佑介

関西グラビア協同組合青年部：第28期通常総会開催報告 ⑰

GP 認定制度申請についてのお願い ⑪

Packaging ⑳

(株)千代田グラビヤ：潮来第二工場で軟包装水性IJ印刷機、「Truepress PAC 830F」
が本格稼働

酒は永遠の友 vol.19 田口 薫 ㉒

Data Watch 2026年4月データ 24

紙・プラスチック・ゴム製品統計月報に見る包装印刷 2026年5月 ... 30

Survey..... 34

仕事はそこそこ、ワーク・ライフ・バランスが重要、35歳で年収約685万円希望
2026 年度新入社員の会社生活意識調査 働く価値観編

GP工場認定制度無料説明会のご案内..... 38

NEWS Pickup 40

(株)伊藤園・(株)カーリット・(株)千代田グラビヤ、(株)OSPホールディングス、DIC(株)

Information

JPMA ×東京工科大学デザイン学部、コンセプトムービー・プロジェクトロゴ

「想いをそのまま。」を制作・公開..... 13

「新たな化学物質管理規制」に係るWEBセミナーを開催 19

報告者：全国グラビア協同組合連合会 事務局 戸部初雄

GPJAPANは全国グラビア協同組合連合会が発行する機関誌です。年間購読料は送料込みで15,000円+税です。

購読および広告出稿を希望される方は、
全国グラビア協同組合連合会まで。
e-mail: zenkoku-grv@jipi.or.jp



発行：2026年8月10日

発行人：田口 薫（全国グラビア協同組合連合会会長）

発行所：全国グラビア協同組合連合会

〒130-0002 東京都墨田区業平1-21-9

あさひ墨田ビル

TEL.03-3623-4046、FAX.03-3622-1814

編集スタッフ：下田幸二（全国グラビア協同組合連合会専務理事）、

戸部初雄（全国グラビア協同組合連合会）、

酒井由香（同）

編集協力：(株)加工技術研究会

印刷：(株)DI Palette

© 全国グラビア協同組合連合会 2026

落丁・乱丁はお取り替えます。GPJAPANの無断複写・複製・転写・転機は、著作権法で認められているケースを除き、禁止されています。また、磁気・光磁気媒体等への記録することは禁止します。

組合員・単組の近況

関東グラビア協同組合

取適法、印刷産業の環境、育成就労をテーマにセミナーを開催

関東グラビア協同組合（吉原宗彦理事長、東京加工紙㈱）は 2026 年 6 月 29 日（月）午後 2 時～5 時まで、東洋インキ㈱本社 京橋エドグラン 29 階のリアル会場とオンラインによるセミナーを開催した。会場、オンライン合わせて約 110 名が参加し、関心の高さが伺われた。終了後には懇親会も開催され、参加者同士で交流の輪が広がった。



吉原宗彦理事長

冒頭、関東グラビア協同組合の吉原宗彦理事長が次のような挨拶を行った。

ナフサや原材料の供給不安や価格高騰により、4、5月は

値上げ分の価格転嫁に奔走したものの、例年に比べて交渉や妥結内容が非常にスムーズに進んだと感じる。その要因の1つには取適法の存在がある。施行後、公正取引委員会による金型や印刷版の保管に対する摘発や、Gメン1,000人体制での価格転嫁促進の動きなど、大変心強い環境が整いつつある。また、独占禁止法違反（カルテル）の摘発も強化されている。長い間、価格の主導権は流通側にあり、製品が適正価格で売られてこなかった。サプライチェーン上の我々の包材価格も適正に評価されてこなかったことになる。今後は、適正価格での取引を徹底し、適正な賃金で社員を雇用で

きる環境を作ることが何よりも重要だ。

続いて、全国グラビア協同組合連合会の田口 薫会長からはグラビア印刷業界の近況について次のような講演が行われた。

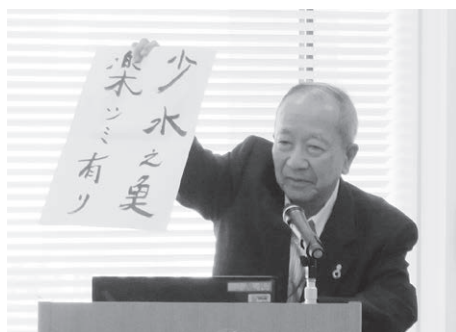
日本には「もったいない」という言葉があるが、本当に価値のあるものを無駄にしていることを忘れてしまった。空気と水とパッケージというように、これをお粗末にする人がいる。普段使っている袋が一体いくらで作られているか。安い加工賃に苦しめられてきた日本はどうなったか。材料メーカーが取り扱いを止めてしまった、国産の酢酸エチルはどうなったか。

今どれだけ無駄なことをしているか。過剰品質か、適正品質か、適正価格か、これを考えるのは流通であり、食品メーカーである。

世界のコンバーターを見ると、利益率20%、社員の給料も良い、オフィスもキレイ。ところが日本の軟包装はどうか。市場全体の売上は約1兆2,000億円。日本のグラビア印刷機の売上はいくらか。機械メーカーは危機感を持つ必要がある。

赤澤亮正経産大臣との面会では原材料の目詰まりの話から、ちょっとしたキズや微細な理由で返品されるような過剰品質問題まで説明し、すぐにこうした問題を協議する会を立ち上げた。青年部のメンバーも多いに活躍してくれる予定だ。これまで「おみそ」のような扱いを受けがちだったグラビア業界でも、TOPPAN や大日本印刷をはじめとする大手企業のキーパーソンが過剰品質の解決に向け参加してくれるようになるなど、地道な努力によって状況は変わりつつある。ただ、経済産業省や我々業界は動いているが、最終的には流通側を動かさないといけない。これが重要だ。議員連盟の立ち上げなど、我々が生き残っていくために協力をお願いしたい。

「少水の魚に楽しみ有り」。我々は水の少ない魚であるが、ここで考えて立ち上がっていけばグラビアは生き残れる。



田口 薫会長

続いて、次の3名の講師による講演に移った。

取適法と公正取引委員会の役目について

公正取引委員会事務総局 経済取引局

取引部 企業取引課 石井 悟氏

今年1月1日施行の「製造受託等に係る中小受託事業者に対する代金の支払いの遅延等の防止に関する法律」（略称：中小受託取引適正



石井 悟氏

化法、通称：取適法）について、適用の対象は、製造・修理・情報成果物作成・役務提供といった取引の内容と、資本金基準（3億円／5,000万円）または従業員基準（300人超、または100人超／300人以下、または100人以下、個人含む）の規模要件を満たす必要がある。同じ事業者間でも取引によって委託事業者（旧：親事業者）が変わる場合があるため注意が必要だ。

委託事業者の義務は、①発注内容等の明示義務（4条明示）、②書類等の作成・2年間の保存義務（7条記録）、③受領日から60日以内の支払期日を定める義務、④遅延利息（年率14.6%）の支払義務の4項目。なお、中小受託事業者（旧：下請事業者）に責任がないのに、発注時の代金を減じた場合も遅延利息の支払い義務が生じる。

委託事業者の主な禁止行為は、①受領拒否、②代金の支払い遅延、③代金の減額、④返品、⑤買ったたき、⑥購入・利用強制、⑦報復措置の禁止、⑧有償支給原材料等の

対価の早期決済、⑨不当な経済上の利益の提供要請、⑩不当な給付内容の変更・やり直し、⑪協議に応じない一方的な代金決定の11項目。

⑤に該当するおそれのある行為として、「見積段階より発注内容が増えた、仕様が複雑化してコスト増となったのに製造委託等代金の見直しをせず、当初の見積価格を代金として定めること。労務費、原材料価格、エネルギーコスト等のコスト上昇分の取引価格への反映の必要性を価格交渉の場で明示的に協議せず、従来通りに価格を据え置くこと」などを例に挙げた。

⑨は、金型等を使わずに製造する製品の発注を1年以上行わないのに、金型等を無償で保管させたり、下請事業者から金型の廃棄や引き取り等の希望を伝えられていたのに、無償で保管させていた場合などは、違反として認められたとのことだ。

⑪は、「合理的な範囲を超えて詳細な情報の提示を要請し、当該情報の提示を協議に応じる条件とすることが該当する。労務費は都道府県別の最低賃金や総務省の消費者物価指数、日銀の各種指数など公の資料が中小受託事業者の具体的な根拠資料として評価できるものになる。それを拒む場合は本規定に該当して違反となる」。

また、取適法が適用されない大企業同士や中小企業同士の取引における長すぎる支払サイト（90日～120日等）による影響を防ぐため、独占禁止法（優越的地位の濫用）に基づき、受領日から60日を超える支払遅延を規制する新たな告示を策定した（2027年4月施行予定）。

<同法違反被疑事実についての申告窓口>

オンライン：[https://www.jftc.](https://www.jftc.go.jp/soudan/denshimadoguchi/cyuitoriteki.html)

[go.jp/soudan/denshimadoguchi/cyuitoriteki.html](https://www.jftc.go.jp/soudan/denshimadoguchi/cyuitoriteki.html)

TEL：03-3581-3375（直通）



印刷産業環境ビジョン及び、GHG プロトコルについて

（一社）日本印刷産業連合会 GP 推進部
部長 内藤 清氏

日本印刷産業連合会が今年3月に公表した「印刷産業環境ビジョン2050」では、脱炭素社会の実現、循環経済の深化、自然共生



内藤 清氏

社会の推進の3つの柱を掲げる。脱炭素の実現に向けては、同ビジョン2030年中間目標で、Scope1、2の温室効果ガス（GHG）排出量を13年度比で55%削減、Scope3の算定範囲を拡大し2050年のカーボンニュートラル実現を目指すことが定められている。

サプライチェーン排出量は、事業者自らのGHGの直接排出であるScope1、他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出であるScope2、Scope1、2以外の間接排出であるScope3（全15カテゴリー）を合算して把握するが、印刷業界で多くを占めるのはScope3カテゴリー1「購入した製品・サービス」。

日本ハムの取り組み事例では、「包装

材メーカーが資材投入量を削減することで Scope3 カテゴリー 1 が削減。フィルムやトレーの軽量化により輸送事業者の Scope1、日本ハムの Scope3 カテゴリー 4 『輸送・配送（上流）』の削減につながった」。

算定手順は、①算定目標の設定、②算定対象範囲の確認、③各カテゴリーの分類、④各カテゴリーの算定、の4つ。

算定方法には、取引先から1次データの提供を受ける手法と、自社の活動量に外部データベースなどの排出原単位を掛け合わせる手法がある。環境省などが推奨するのは前者の手法であるが、実際は後者を用いる企業が多い。講演では産業関連表データベースの排出原単位を用いて、調達部品ごとに「調達金額（年間の購入金額）」×「排出原単位」で排出量を求める算定例も解説。

世界約1万3,000社が取得している「SBT（Science Based Targets）」は、企業の削減目標がパリ協定の基準に整合していることを示す認定制度。認定には Scope1、2 で年4.2%以上、Scope3 で年2.5%以上の削減が求められ、他者のクレジットは使用できない。

中小企業は取得に際し、Scope1、2 合計排出量が1万トン以下、親会社の全体事業が標準的な検証ルートに該当する企業の子会社ではないことなどの必須条件4つと、従業員250人未満や売上高5,000万ユーロ未満などの追加条件3つを満たすことで優遇措置が受けられる。優遇内容としては、Scope1、2 の目標設定のみで申請可能、申請費用約20万円（通常約180万円）の2つ。現在、日本の中小企業によ

る SBT 認定取得数は1,571社で世界トップとのことだ。

最後に、グリーンプリンティング（GP）認定制度のキャラクター「ジッピー」が登場する1分間のアニメを公開。「お客様にこの動画を見てもらうことで、GPをより理解していただけるようにとの思いで作成した」と語った。

育成就労制度と外国人労働者の状況について

㈱共栄 国際事業部 本部長 宮尾 宏氏

2027年4月1日より、現行の技能実習制度に代わる新たな制度として育成就労制度が施行される。受入れ申請手続きは26年9月1日



宮尾 宏氏

から開始する。国としては、27～29年にかけて約42万6,000人の受入れを進める方針になっている。

就労を通じた人材育成と確保を目的とする同制度は、在留期間が原則3年、以降は特定技能1号、2号へのキャリアアップが可能。対象分野は全17分野で、グラビア印刷は「工業製品製造業」に分類されている。特定技能と合わせた総受入れ人数枠は123.2万人に設定されている。

受入れ枠は企業の正社員数に応じて定められており、「正社員数が51人以上100人以下の場合、3年間の基本受入れ枠は最大18人となる」。この枠内には特定技能

などの他の在留資格の外国人材はカウントされるため注意が必要とのことだ。なお、受入れ枠が拡大される措置も用意されている。

育成就労から特定技能1号へ移行するためには、技能評価試験の合格に加えて日本語能力試験N4以上の取得が必須となる。そのため、受入れ企業は学習環境の提供やeラーニングの活用など、日本語教育のサポート体制などが求められる。

また、原則として転籍は認められているものの、次のような要件を満たすことが必要となる。まず、グラビア印刷などの工業製品製造業分野は、入国後原則2年間は転籍不可。転職手続きも民間の職業紹介事業者の関与は禁止され、ハローワーク等を通じた公的なものに限定される。さらに、地方から東京や大阪などの大都市圏の企業への転籍は、受入れ枠や割合に制限が設けら

れるほか、人材育成に要した初期費用の一部を転籍先の企業が負担する仕組みも導入される予定だ。

フィルム加工（ドライラミネート、押出ラミネート、スリット、製袋、フラットヤーン）についても、工業製品製造業分野の機械金属加工や電気電子機器組立の職種に加わる見通し。製袋では業界団体が立ち上がり、評価試験問題の作成などが進められている。

現行の技能実習制度は今年の10、11月に面接を終える案件がギリギリのタイミングとなり、それ以降は育成就労制度への申請がメインになっていく。新制度の開始に伴い、「入管庁の申請業務が煩雑化、混乱し、入国までの期間が通常よりも長引く可能性があるので、早めに対策をしてほしい」としていた。



GP 認定制度申請についてのお願い

GPマークの製品表示が可能になりました

全国グラビア協同組合連合会

平成20年よりグリーンプリンティング（GP）認定制度の受付（グラビアは第7回より開始）が始まっています。グラビア印刷部門のGP認定工場目標数は**70事業所**です。

GP 認定の取得によって、VOC排出削減、CO₂の排出削減等の「環境保全」「省エネ・省資源」と「安全・安心」の確約をし、差別化が進む社会に対応し長期不況の厳しい中で勝ち残る最大の武器になると考えます。現在「日印産連」において GPの周知活動が行われ、社会的な認知向上が進んでおります。

毎月「日印産連」において説明会が開催されております。この機会を逃さず参加されることを望みます。なお、グリーンプリンティング認定制度に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館 8 階

日印産連グリーンプリンティング認定事務局

(TEL: 03-3553-6123 FAX: 03-3553-6079 E-mail: gp-nintei@jfpj.or.jp web: <http://www.jfpj.or.jp/>)

※なお、GP マークが軟包装グラビア印刷製品（袋等）に表示が出来るようになりました。

「グリーンプリンティング（GP）マーク製品表示の手引き」をご参照願います。

【GP 制度概要説明会開催について】

- 毎月原則 2 日開催
- 参加費無料
- GP 制度と申請方法を分かりやすく説明
GP 認定制度の概要、GP 認定取得、GP マーク表示のメリット、GP 申請方法の概要等
- 当日、ガイドラインをお渡しします。
- GP 申請を希望する方で、まだガイドライン等を読んでいない方はこちらに参加の上、下記申請書作成説明会にご参加下さい。
- 各印刷部門共通です。
- 印刷業界内外問わず誰でも参加できます。
- 参加希望者は事務局にお申込み下さい。
9月2日(水) 15:00～16:30 Zoom開催

【GP 申請書作成説明会開催について】

- 毎月原則20日開催
- 参加費無料
- 申請に必要な次の内容を具体的に説明
GP 申請書の書き方
添付書類作成方法
現地審査の内容等
- チェックシート記入の上、ご参加下さい。もちろん、不完全でかまいません。
- 参加希望者は事務局にお申込み下さい。

【グラビア印刷部門】

- 8月20日(木) 13:00～15:00 Zoom開催**
- 9月16日(水) 15:10～17:00 Zoom開催**

組合員・単組の近況

関西グラビア協同組合

理事会および田口会長講話・意見交換会を開催 適正価格転嫁と商慣習見直しに向けた業界課題の共有

関西グラビア協同組合（高桑真樹理事長、㈱ダイドー）は、2026年7月22日（水）午後6時より、アットビジネスセンター大阪梅田7階会議室にて令和8年度第2回理事会を開催しました。

事前に提起された5つの議案について協議した後、午後6時40分からは全国グラビア協同組合連合会の田口 薫会長をお迎えし、業界を取り巻く現状と課題の共有、並びに同連合会が関係各所へ働きかけている取り組みについてご講話いただきました。



田口会長をお招きして理事会

田口会長からは、国内に約1,500台あるグラビア印刷機のうち、20年以上稼働しているグラビア印刷機が1,000台以上にのぼる現状が示されました。これらが現在も現役で稼働している事実は設備更新が滞っている証拠であり、業界として異常な状況であるとのご指摘がありました。今後は、コストアップ分を自社でカバーする「自腹主義」や、業界会合に参加せず古い情報に固執する「保守主義」から脱却し、材料費・労務費のみならず、設備更新費を含む企業運営上のすべてのコストを原価に織り込む「フルコスト主義」へと転換していく必要があります。そのうえで、適正な価格をお客様に提示し、廃業や倒産を招くことなく事業を安定的に継続し、お客様にご迷惑をおかけしない体制を整えていくことが求められます。

併せて、過剰品質によるロスの削減に向けた業界商慣習の見直しについて、組合として明確な品質基準を設けたうえでお客様へ説明し、経済産業省・環境省・農林水産省などの関係省庁や公正取引委員会に協力を得られるよう働きかけを進めている旨のお話がありました。

理事会終了後は場所を移して懇親会を開催し、引き続き田口会長を交えて忌憚のない意見交換を行いました。今後も今回のような意見交換の機会を定期的に設けたい旨を高桑理事長より田口会長へお伝えし、閉会となりました。

今回、田口会長にご臨席いただいた経緯は、今年6月に全国グラビア協同組合連合会が

開催した北海道総会の懇親会において、当組合の高桑理事長より理事会へのご出席を打診したことがきっかけです。当日は夕方にご来阪いただき、数時間の滞在後、最終便に近い新幹線でご帰京されるという軽やかなフットワークに一同感服いたしました。

22日の大阪は夜間も気温が下がらず、酷暑日に迫る猛暑日となりましたが、そのような中、関西からの要請に応じてご来阪いただきましたことに、改めて厚く御礼を申し上げます。



場所を移して忌憚なき意見交換

i Information

JPMA × 東京工科大学デザイン学部、コンセプトムービー・プロジェクトロゴ「想いをそのまま。」を制作・公開

(一社)日本包装機械工業会(JPMA)は、東京工科大学デザイン学部3年生との共同研究プロジェクトの一環として、若年層への包装業界の認知向上と魅力発信を目的にコンセプトムービーおよびプロジェクトロゴ「想いをそのまま。」を制作・公開した。

プロジェクトロゴは、人から人へ想いが受け継がれていく様子をモチーフとし、生産者・包装・生活者をつなぐ存在としての包装業界の役割を表現。また、包装が単に商品を包む技術ではなく、人々の暮らしや社会を支える存在であることへの誇りや責任感を象徴している。コンセプトムービーでは、このロゴコンセプトを映像として表現し、これまで包装を意識したことのない若年層に対し、「包装は自分たちの生活を支える誇り高い仕事」であることを伝えることを目指した。

同プロジェクトでは、20代男女40名を対象にコンセプトムービーの効果検証も実施。調査では、映像視聴前は包装業界について「存在を認知していない」「包装そのもの

を意識したことがない」という回答が多く見られたが、視聴後は、「自分の生活を支えている存在だということに気づかされた」「街中でも意識するようになった」「尊敬の気持ちを持った」「知らなかった世界を知ることができた」など、狙いとした印象への変化が確認された。また、視聴者からは、「動画全体を通して温かく優しいイメージが伝わってきた」「当たり前の日常を支える存在だということが印象に残った」「包装のことが本当に好きな人たちであることが伝わってきた」などの感想が寄せられ、包装業界への理解や共感の醸成につながる成果が得られた。

コンセプトムービー

URL : <https://youtu.be/WihIXdMbfSM>

プロジェクトロゴ格納 URL :

<https://storage.jpmma.or.jp/public/xN5-gPQHm3niQv8>



組合員・単組の近況

関東グラビア協同組合青年部

第 27 回通常総会報告

報告者：サカティンクス(株) 蓬澤佑介

2026 年 6 月 19 日 (金)、関東グラビア協同組合青年部 (原 卓実部長、三洋グラビア(株)) は、神奈川県のホテル南風荘 (第二会議室) にて 2026 年通常総会を開催しました。

第 27 回通常総会

石澤幹事 (信和産業(株)) の司会のもと、原部長のご挨拶により通常総会は開始されました。当通常総会は組合員数 53 名中 29 名の出席により有効成立し、以下の審議を実施し、いずれの議案も承認されました。

- ・ 令和 7 年度事業報告及び収支報告
- ・ 役員改選

第 27 回通常総会に至るまでの活動として、2025 年秋季研修会では、富士機械工業(株)様にご協力を賜り、VOC 排出について法規制のご講演、および水性グラビア印刷のデモンストレーションを実施いただきました。春季研修会では、(株)ミヤコシ様 (千葉県) を訪問し、水性フレキソ・EB オフセット・水性インクジェット印刷機についてのご説明、およびインクジェット機のデモンストレーションを実施いただきました。

役員改選を経て前体制は任期満了をもって終了し、新体制が正式に発足しました。続いて、伊藤孝太新部長 (株)東京ポリエチレン印刷社) による就任挨拶が行われ、久米野貢大幹事 (信和産業(株)) の司会のもと、以下の審議を実施し各議案ともに承認されました。

- ・ 令和 8 年度事業計画及び収支予算案
- ・ 前回通常総会から今回通常総会期間中の会員名簿の変更



原 卓実部長



伊藤孝太新部長

新体制発足

本総会をもって青年部は第14期体制へと移行し、新役員のもとでの活動がスタートしました。

歴代の先輩方が築いてこられた青年部の活動実績を継承しつつ、業界環境の変化に対応した新たな取り組みを進めていく体制となります。

近年、グラビア業界を取り巻く環境は、原材料価格の高騰や国際情勢の変化、環境対応の要請などにより、大きな転換期を迎えています。こうした状況において、企業間の垣根を越えた情報共有や議論の場として、青年部の役割はますます重要性を増していると感じています。

新役員

部長	伊藤孝太（㈱東京ポリエチレン印刷社）
副部長	小松真人（東京加工紙㈱）
副部長	平塚正彰（日本パッケージング㈱）
会計	金原慎一郎（東洋インキ㈱）
幹事	久米野貢大（信和産業㈱）
幹事	蓬澤佑介（サカタインクス㈱）
幹事	川島僚介（大伸化学㈱）
幹事	大橋空太（㈱SCREENGP ジャパン）
相談役	小林直人（ハ潮化学㈱）
監査役	原 卓実（三洋グラビア㈱）



新役員

分科会活動の再始動―「過剰品質の見直し」への取り組み―

本年度の大きな取り組みとして、分科会活動を再始動します。今回のテーマは、業界共通の課題である「過剰品質の見直し」です。

グラビア印刷はこれまで高品質を強みとして発展してきましたが、その一方で品質要求の高度化により、現場負荷の増加や生産ロスの拡大といった課題も顕在化しています。

通常総会後には分科会説明会を実施し、会員を以下の3つのチームに分けて活動を開始しました。

A：食品メーカー・消費者へのアプローチ

B：品質基準の見直し

C：検査機の基準づくり（AI 活用）

今後は各チームで検討を進め、業界として共有可能な方向性の整理と発信を目指し、秋季に中間発表を計画しています。



総会、分科会の様子

おわりに

本総会を契機に、関東グラビア協同組合青年部は新たな体制のもとで活動をスタートいたしました。今後は分科会活動を中心に、業界課題に対する具体的な取り組みを推進するとともに、会員相互の連携強化と人材の育成により、業界の持続的発展に貢献してまいります。引き続き、関係各位のご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



組合員・単組の近況

関西グラビア協同組合青年部

第 28 期通常総会開催報告

関西グラビア協同組合青年部(堀川 孟部長、NissiNSeal(株))は、2026 年 6 月 24 日(水)午後 6 時から、ホテルモントレグラスミア大阪「ハートウェルホール」(大阪市浪速区湊町)において、31 名参加のもと、第 28 期通常総会を開催しました。



堀川 孟部長

総会は事務局の司会によって進行され、開催に際し堀川部長が、多数の会員が出席したこと、また昨年 9 月に開催された青年部全国大会での協力への謝意とともに、次のように挨拶しました。「6 月にベトナム、中国、タイを訪れ、現地の街や人と話す機会があり、改めて視野を広げる良い契機となりました。我々青年部も、日々の仕事では得られない学びや人とのつながりを大切にする場であると考えています。ぜひ懇親会の場で交流を深め、情報交換をしながら切磋琢磨して成長していきましょう。本年度も皆様にとって有意義な活動を行ってまいりますので、何卒ご協力のほどお願い申し上げます」。

続いて司会より、本日の通常総会は定足数を満たしている旨が告げられた後、堀川部長が議長に選任されて議案審議に入りました。第 1 号議案、第 2 号議案とも賛成多数で可決され、すべての審議を終了しました。

<決議事項>

第 1 号議案 令和 7 年度事業報告及び収支決算に関する件

第 2 号議案 令和 8 年度事業計画案及び収支予算案の承認の件

総会後は委員会を開催し、教育研修委員会と組織交流委員会に分かれて期中の青年部行事(交流会、年末情報交換会、研修会)について意見交換を行いました。

その後、引き続き同会場にて懇親会を開催しました。サカタインクス(株)の近藤部員の司会進行によりスタートし、今年度も引き続き部長を務める堀川部長が、総会冒頭でも触れた海外での話題を交えて次のように挨拶しました。

「海外で感じたこととして、日本の存在感が薄れてきているという印象を受けました。日本車の数が明らかに減っています



司会を務めた近藤部員

し、ホテルの水回りには必ずといっていいほど TOTO 製品が採用されていたのが、中国ではほぼ中国製に変わるなど、あらゆる場所で日本製が見られなくなっています。このように、海外に行くだけでも肌で感じるが多々あります。視野を広げることは、今後の業界の将来を担う我々青年部の面々にとって非常に有意義かつ重要なことだと思います。そのため、来年は青年部としてアジア圏への海外視察を実行したいと考えています。これは次期青年部部长候補の希望でもありますので、ぜひ皆さんでその希望を叶えるべく計画を進めていきたいと思っています。何卒皆様のご協力をお願い申し上げます」

乾杯の音頭は、親組合の理事も兼任する森協理事が登壇し、次のように皆に伝えて乾杯の発声を行いました。

「6月11日、12日に全国グラビア協同組合連合会の総会に参加し、多くの交流を図ってきました。そこではナフサの状況に関する話題が大半を占めていました。その中で田口会長が強くおっしゃっていたのは、国に対する働きかけも行っており、国側もナフサの目詰まりを解消するべくしっかり動いているというお話でした。4月頃に比べると皆さんも少し落ち着いてきているかと思いますが、そのようなお話が全グラであったことをご報告させていただきます。先ほどの堀川部長のお話に重ねるようですが、私も今年2月にベトナム、6月にタイへ行き、まったく同じことを感じました。日本車が減っていること、それ以外の面でも日本のものづくりの力が弱まっているのではないかという危機感を覚えました。為替もそれを表しているのかもしれないかもしれません。青年部、そして親組合も含めて、まずは我々業界の仕事で日本のものづくりを盛り上げ、しっかり取り組んでいきたいと考えていますので、引き続きご協力をお願い申し上げます」

乾杯後は賑やかに宴会が催され、名刺交換や情報交換、歓談の輪が広がりました。途中、新加入者および青年部担当者の交代に伴い、新旧担当者それぞれから挨拶をいただきました。

最後は、三島理事による中締め挨拶と、関西グラビアの万歳といえばこの人、吉田副部長による名物の万歳三唱をもって、午後8時30分にすべて滞りなく終了しました。



中締めをする三島理事





関西名物、吉田副部長による万歳三唱レクチャー

i Information

「新たな化学物質管理規制」に係る WEB セミナーを開催

報告者：全国グラビア協同組合連合会 事務局 戸部初雄

2026 年 7 月 23 日（木）に全国グラビア協同組合連合会事務所より、労働安全衛生法「新たな化学物質管理規定」と題して、中央労働災害防止協会労働衛生調査分析センター衛生管理士の武井貴史講師による WEB セミナーを 2 時間にわたり配信しました。

グラビア業界に特化した内容で、職場における実務者を対象に化学物質管理のリスクアセスメントの記録、保存、周知義務の重要性や作業環境測定、個人ばく露測定等、「知らないでは済まされない」行政対応の厳格化に

備え、日々の記録整備と周知の徹底を強調されました。



千代田グラビヤ 潮来第二工場で軟包装水性 IJ 印刷機 「Truepress PAC 830F」が本格稼働

(株)千代田グラビヤと(株)SCREEN グラフィックソリューションズ (SCREEN GA) は、軟包装印刷市場におけるデジタル化の推進と環境負荷低減を目的として協業し、千代田グラビヤ潮来第二工場に導入された水性デジタルインクジェット (IJ) 印刷機「Truepress PAC 830F」を活用し、軟包装パッケージの本格生産を開始した。

水性 IJ 印刷機で新たな価値を提供

Truepress PAC 830F は、水性顔料インクを採用した軟包装向けデジタル印刷機で、版が不要なデジタル印刷方式により、従来の印刷工程と比較して、ジョブ切り替え時の洗浄や準備に関わる作業を大幅に削減できる。

千代田グラビヤでは、今回の設備の活用によって以下の価値提供を推進していく。

①多品種展開によるブランド価値向上

パッケージサイズを共通化しながらも多様なデザイン展開を可能とし、期間限定や地域限定の商品、テストマーケティング商品などの企画・提案を支援する。また、小ロットの案件や多品種展開のニーズに柔軟に応え、顧客におけるブランド価値の向上に貢献する。

②SKU の最適化と在庫の削減

必要な数量を必要なタイミングで供給できる生産体制を構築することで、顧客における包装材の在庫の最適化と SKU*の低減を支援する。

※ Stock Keeping Unit の略。商品を管理する際の最小単位

③生産性向上と働きやすい製造環境の実現

従来の印刷方式と同等の高品質を維持しながら、版交換や洗浄作業の削減によってオペレーターの負荷を軽減する。また、準備時間を従来比約 70%削減し、人材確保や技能継承が求められる製造現場において、持続可能な生産体制の構築に寄与する。



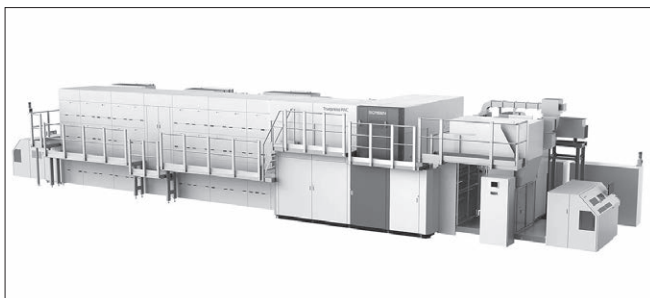
千代田グラビヤ潮来第二工場

④環境負荷低減への取り組みの強化

水性インクの採用と無版印刷の特長を生かし、洗浄作業における溶剤使用量の低減や、必要な数量のみを生産することで、在庫ロスを抑制するなど、総合的な環境負荷低減を推進する。

また、千代田グラビヤでは、デジタル印刷技術を活用した印刷物および関連サービスを、「Eco Smaart」という名のソリューションとして位置付けている。

Eco Smaart は、多品種小ロット生産、短納期対応、在庫最適化、環境負荷低減などの市場ニーズに対応するソリューションで、デジタル印刷を活用した新たな価値提供を推進する取り組み。今回の Truepress PAC 830F を活用した軟包装パッケージの本格生産は、Eco Smaart の取り組みの一環となる。



Truepress PAC 830F

2030 年にデジタル印刷比率約 10%目標

両社は、軟包装市場におけるデジタル印刷の拡大を通じて、多品種小ロット生産への対応、環境負荷低減、生産性向上を推進していく。

今後は、デジタル印刷と従来のグラビア印刷を適切に組み合わせた最適な生産モデルを確立するとともに、2030 年のデジタル印刷比率約 10%を目標として、顧客の多様なニーズに応える生産体制の構築を推進し、軟包装業界の持続的な発展に貢献していく。

千代田グラビヤの佐藤裕芳代表取締役社長は、「当社では、多品種小ロット化の進展や環境対応への要求の高まりを受け、生産体制の高度化を進めています。Truepress PAC 830F の導入により、従来のグラビア印刷に加え、柔軟な生産体制を構築することができました。今後は、デジタル印刷の特長を生かした新たな価値提案を通じて、お客さまの事業成長に貢献していきます」とコメントしている。

酒は永遠の友

vol.19

田口 薫

全国グラビア協同組合連合会の前会長であった川田さんは顔は恐いが、心は優しく寂しがり屋であった。時々衝突して私が連絡しないでいると、どこかで仲直りをせねばと思うがきっかけがつかめない。秘書の女性に親分の様子を聞くと、「動物園の熊のように部屋の中を歩き回っています」と言う。しめたと甘い饅頭を沢山買って、事務所を訪ねると喜色満面、さあ銀座へ行こうとなった。7丁目の小料理屋「三亀」へ連れていかれた。こじんまりした家族経営の店で、その時は特に何も感じなかったが、10年後にミシュランに一つ星で掲載された。



その次の仲たがいの時は「銀座寿司幸本店」へ連れていかれた。ここで見たことのない握り寿司が出てきた。シャリの上にメダカのような小魚がいっぱい張り付いている。小肌の幼魚でシンコというが、一般にはシンコは成魚の半分くらい。しかし、この店はどういう包丁さばきか薄く三枚におろしてある。身は本当に軟らかく、職人の腕の凄さを感じた。小肌はコノシロとも言うが、「この城」と呼んで武士は敬遠したとか。岡山にママカリという名物がある。小肌の同類のサッパで、同じくニシンの仲間らしい。素人には見分けがつかない。ママカリをおかずにするとごはんが進んでおひつが空になるので、隣からマンマを借りてくることが語源らしい。ニシンもそうだが、酢でしめると美味しい。ドイツでソーセージを食べ飽きた時はニシンの酢漬けがあって、ホッと救われた。



川田さんには食事の後、行きつけの女性のいるバーかクラブのようなところへご案内

ただいたが、私は話も合わず、大人しくしていたが、ご本人は冗談や笑いネタを連発してご機嫌だった。川田さんはもう亡くなって13年経つが、今も私たちの話題に上る。そういう意味では私たちの心の中で生きておられる。大人物というか、慶應義塾で評議員を長年務められた。大日本印刷の北島さんより評議員では古株であったとか。北島さんの評議員の推薦人になって、食事をごちそうになったそうだ。

橋本龍太郎総理とは親友で、新聞の首相の動静欄に川田善朗氏来という記事が度々出ており、慶龍会という橋本さんの慶應の後援会を作って、橋本氏を総理に押し上げた。政治家になれば成功されただろうと思った。

エピソードは余るほどあるが、ある新聞に某議員が国会で“食品包装は無駄ではないか。ゴミも増える”と言ったという内容の記事があった。早速ご注進に及ぶと、「これから斉藤鉄夫環境大臣のところへ行こう」と言って電話をされた。「今、どこへ電話したのですか」と聞くと池田大作事務所だと言われる。たまげた。そこまでツーカーで話ができるのか！私は当業界の必要性を訴えるため、コンビニで食品を買い込んで大臣室の机に並べた。大臣は静かな方で学術博士でもあり、「あなた方の有用性はよく理解しています」と言われ、ホッとした。



生物の世界は自然淘汰の原則がある。我々の業界も等しくこの原則から逃れることはできない。「適者生存」の原則は不動だ。小西、大協、ユニオン、ニッソー、東洋彫刻の5社が消滅した。我々のビジネス環境は好転したのか？ 今の2社の成績ではそうは問屋が卸さない状況ではないか？ 仕事量、単価から、さらに廃業、倒産が増えるだろうか？ だから仕事が増えるとか単価が上がるとは言えない。それを期待してもいいが、もっと会社の質を上げなければ生き残れない。のんびりしては置いていかれる。クレーム、品質、ロス率（三悪）の削減等に汗をかかねばなるまい。

紙・板紙（1）

	生産量（トン）				販売数量	
	2026年4月	前年同月比（%）	1～4月累計	前年同期比（%）	2026年4月	前年同月比（%）
紙・板紙合計	1,777,966	97.6	6,862,179	96.1	1,740,791	100.1
紙計	793,165	94.4	3,122,979	92.6	780,801	96.1
新聞巻取紙	106,272	91.0	431,955	87.9	102,770	91.7
印刷・情報用紙	394,130	90.7	1,582,397	89.7	396,283	93.9
非塗工印刷用紙	93,740	94.2	379,595	93.0	91,659	92.9
上級印刷紙	65,325	96.5	274,395	95.2	64,707	94.6
中級印刷紙	13,629	90.6	48,837	91.5	12,153	93.8
下級印刷紙	14,043	89.1	53,545	84.7	14,108	84.5
薄葉印刷紙	743	77.7	2,818	95.8	691	119.8
微塗工印刷用紙	51,277	82.6	192,914	81.5	50,564	88.3
塗工印刷紙	159,341	90.4	656,715	89.0	169,598	93.9
アート紙	905	84.0	8,686	106.9	1,589	78.3
コート紙	88,592	87.5	363,429	86.8	90,141	87.9
軽量コート紙	61,331	99.1	237,033	92.8	65,214	104.2
その他	8,513	71.3	47,567	85.2	12,654	94.3
特殊印刷用紙	12,933	98.6	49,185	94.1	14,963	109.7
色上質紙	4,268	110.4	14,982	90.4	5,033	115.8
その他	8,665	93.6	34,203	95.9	9,930	106.9
情報用紙	76,839	91.6	303,988	92.2	69,499	96.8
複写原紙	6,130	85.2	25,734	90.9	1,908	113.9
フォーム用紙	14,407	89.1	55,709	98.7	14,555	91.7
PPC用紙	43,264	94.1	169,039	88.8	46,674	97.6
情報記録紙	11,349	94.2	46,706	100.6	4,709	107.5
その他	1,689	67.5	6,800	83.4	1,653	80.1
包装用紙	70,787	103.7	265,703	100.4	64,178	99.4
未晒し包装紙	49,583	105.4	185,765	101.5	43,922	100.6
重袋用両更クラフト紙	29,943	102.2	111,610	100.6	25,307	96.5
その他両更クラフト紙	17,353	107.3	66,993	101.4	16,874	105.9
その他未晒し包装紙	2,287	144.7	7,162	118.7	1,741	115.8
晒し包装紙	21,204	100.0	79,938	97.9	20,256	97.0
純白ロール紙	5,919	104.7	21,177	100.1	5,680	106.1
晒しクラフト紙	13,601	94.5	52,529	93.6	13,109	91.2
その他	1,684	145.5	6,232	142.4	1,467	126.0
衛生用紙	163,402	101.4	618,138	99.2	166,944	100.1
ティッシュペーパー	34,357	97.2	130,862	96.8	32,884	93.8
トイレットペーパー	97,859	100.9	366,920	97.7	101,972	100.4
タオル用紙	24,941	110.8	96,475	110.8	25,851	109.8
その他	6,245	100.1	23,881	95.3	6,237	95.1
雑種紙	58,574	99.1	224,786	97.5	50,626	106.3
工業用	55,322	99.1	212,543	97.4	47,428	107.0
加工原紙	46,921	99.4	178,986	97.8	38,878	108.4
電気絶縁紙	1,403	102.6	5,081	124.3	1,123	108.4
その他	6,998	96.8	28,476	91.2	7,427	100.3
家庭用	3,252	98.5	12,243	99.5	3,198	96.9

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026年4月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

(トン)		販売金額 (百万円)				月末在庫 (トン)	
1～4月累計	前年同期比 (%)	2026年4月	前年同月比 (%)	1～4月累計	前年同期比 (%)	2026年4月	前年同月比 (%)
6,637,483	106.2	229,289	102.4	876,139	101.1	969,893	50.0
3,117,928	96.0	139,812	99.7	548,910	99.0	172,477	16.5
437,363	93.4	14,751	94.6	62,722	97.7	139,249	92.8
1,605,266	93.9	58,458	95.6	236,798	94.9	574,559	94.0
379,440	94.8	13,490	97.2	55,183	96.2	135,215	96.9
271,907	96.4	9,776	98.5	40,339	97.4	91,763	100.0
50,514	95.2	1,770	95.2	7,457	98.7	18,154	90.0
54,267	87.3	1,720	90.7	6,509	87.3	23,063	91.9
2,752	95.2	224	115.5	878	92.7	2,235	90.2
202,530	90.3	6,792	89.1	27,325	90.8	59,343	76.7
694,179	93.6	23,241	94.4	95,341	93.9	222,916	95.0
8,002	97.8	295	78.7	1,526	101.9	3,265	127.1
387,684	93.0	12,543	90.3	53,346	93.8	118,732	96.4
243,652	94.1	8,068	101.4	30,469	92.3	77,605	90.9
54,841	95.1	2,335	97.5	10,000	98.0	23,314	99.1
54,875	102.4	3,741	99.9	14,972	101.7	46,362	97.5
17,646	98.6	841	97.2	3,355	93.9	18,781	96.8
37,229	104.3	2,900	100.7	11,617	104.2	27,581	97.9
274,242	94.7	11,194	99.1	43,977	96.1	110,723	98.7
6,477	85.9	344	117.4	1,175	87.1	9,671	88.9
57,500	97.3	2,287	94.6	8,988	98.5	22,266	95.8
185,757	95.1	7,219	99.2	28,630	96.3	56,115	98.5
17,475	87.8	856	107.4	3,220	91.5	18,821	111.4
7,033	90.9	488	94.9	1,964	96.9	3,850	92.8
258,593	99.7	9,808	104.4	38,300	101.7	93,091	96.6
180,503	101.2	6,172	105.3	24,637	102.7	63,837	98.0
106,503	99.4	3,418	101.6	14,033	101.5	39,245	99.7
67,104	102.6	2,495	109.8	9,618	103.4	22,295	94.5
6,896	117.5	259	114.6	986	114.9	2,297	105.2
78,090	96.4	3,636	103.0	13,663	99.8	29,254	93.8
20,926	102.0	1,019	112.6	3,666	104.5	5,682	87.4
51,278	91.4	2,139	94.1	8,150	91.8	18,787	91.6
5,886	133.7	478	135.4	1,847	141.2	4,785	114.5
623,678	100.5	40,209	103.6	149,347	104.1	72,654	88.0
127,502	95.0	9,311	94.6	36,252	96.6	15,534	104.6
378,630	101.1	22,280	104.2	81,967	105.3	37,778	79.8
93,727	108.0	6,741	118.2	24,072	115.6	14,871	93.2
23,819	95.2	1,877	100.4	7,056	96.2	4,471	103.0
193,028	101.8	16,586	108.7	61,743	104.1	100,359	93.4
181,247	102.0	14,695	110.1	54,682	104.5	94,114	92.8
148,634	102.7	8,871	109.7	33,481	102.5	72,009	87.6
4,443	111.9	2,308	126.9	7,807	123.1	4,212	113.9
28,170	97.0	3,516	102.1	13,394	100.5	17,893	115.3
11,781	99.4	1,891	99.0	7,061	101.2	6,245	102.9

紙・板紙（２）

	生産量（トン）				販売数量	
	2026年4月	前年同月比（%）	1～4月累計	前年同期比（%）	2026年4月	前年同月比（%）
板紙計	984,801	100.3	3,739,200	99.3	959,990	103.7
段ボール原紙	820,406	100.8	3,082,802	99.5	795,415	104.5
ライナー小計	496,850	99.8	1,897,256	99.3	478,222	104.1
外装用（クラフト）	344,901	99.4	1,345,420	99.3	335,834	103.9
外装用（ジュート）	142,775	101.4	517,975	98.8	133,399	105.0
内装用	9,174	94.4	33,861	104.0	8,989	97.6
中しん原紙小計	323,556	102.4	1,185,546	100.0	317,193	105.2
紙器用板紙	118,787	98.3	470,740	98.4	120,024	100.8
白板紙	110,548	99.1	435,410	98.4	111,805	101.9
マニラボール	43,379	106.7	184,128	103.1	44,821	103.9
白ボール	67,169	94.7	251,282	95.2	66,984	100.6
黄・チップボール・色板紙	8,239	89.0	35,330	98.7	8,219	88.1
雑板紙	45,608	96.7	185,658	97.1	44,551	96.6
建材原紙	11,699	111.8	52,726	99.1	13,325	98.4
紙管原紙	23,032	94.8	92,100	99.6	22,228	96.0
その他	10,877	87.7	40,832	89.7	8,998	95.6

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026年4月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

プラスチックフィルム・シート

	生産量（トン）				販売数量	
	2026年4月	前年同月比（%）	1～4月累計	前年同期比（%）	2026年4月	前年同月比（%）
フィルム合計	173,373	99.5	656,592	99.4	197,590	107.7
軟質製品小計	123,323	100.3	475,607	100.2	135,530	109.2
農業用	6,300	99.9	22,224	96.1	7,240	126.0
包装用	88,384	100.9	336,059	100.8	97,427	109.9
ラミネート	8,414	99.4	33,171	97.2	10,837	103.7
その他	20,225	98.6	84,153	100.3	20,026	103.9
硬質製品	50,050	97.5	180,985	97.4	62,060	104.4
シート	19,211	104.7	70,415	104.2	18,344	114.2
合成皮革	4,486	103.0	16,705	93.7	4,358	101.8

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026年4月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

インキ

	生産量（トン）				販売数量	
	2026年4月	前年同月比（%）	1～4月累計	前年同期比（%）	2026年4月	前年同月比（%）
印刷インキ合計	23,017	100.2	83,399	97.3	27,488	101.4
一般インキ小計	21,355	101.8	77,053	98.1	26,215	102.7
平版	5,121	102.6	19,197	100.8	5,805	97.7
樹脂凸版	1,723	109.3	5,964	99.6	1,883	109.2
金属印刷	832	106.7	2,813	102.6	1,023	108.8
グラビア	10,665	99.0	38,183	95.2	13,985	102.0
その他	3,014	106.0	10,896	102.1	3,519	109.5
新聞インキ	1,662	83.5	6,346	89.4	1,273	80.9
印刷インキ用ワニス	5,429	97.5	19,923	91.7	1,796	96.4

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026年4月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

(トン)		販売金額 (百万円)				月末在庫 (トン)	
1～4月累計	前年同期比 (%)	2026年4月	前年同月比 (%)	1～4月累計	前年同期比 (%)	2026年4月	前年同月比 (%)
3,519,555	117.2	89,477	106.9	327,229	104.7	797,416	89.4
2,879,086	121.8	67,456	107.1	242,440	104.6	566,784	87.0
1,744,271	138.8	42,022	107.2	152,873	104.2	378,460	88.6
1,241,934	102.0	30,128	106.4	111,151	103.7	280,275	87.2
469,701	102.4	11,044	109.1	38,692	105.9	90,724	92.4
32,636	100.3	850	108.1	3,030	101.4	7,461	99.2
1,134,815	102.4	25,434	107.1	89,567	105.4	188,324	84.1
468,485	101.6	16,768	107.7	64,902	106.9	160,696	93.5
434,684	102.0	15,742	109.0	60,776	107.5	139,809	92.0
188,628	106.4	7,412	109.8	31,098	111.7	59,379	88.7
246,056	98.9	8,330	108.3	29,678	103.5	80,430	94.6
33,801	96.6	1,026	91.4	4,126	99.3	20,887	104.9
171,984	97.5	5,253	100.9	19,887	99.0	69,936	101.9
51,910	96.6	1,058	101.7	4,042	96.2	21,190	104.9
86,029	99.0	2,265	101.2	8,559	102.5	27,754	90.2
34,045	95.0	1,930	100.2	7,286	96.7	20,992	118.8

(トン)		販売金額 (百万円)				月末在庫 (トン)	
1～4月累計	前年同期比 (%)	2026年4月	前年同月比 (%)	1～4月累計	前年同期比 (%)	2026年4月	前年同月比 (%)
691,622	102.8	129,780	109.2	452,480	113.2	258,096	97.4
478,410	103.5	94,725	110.3	333,368	120.0	191,634	97.8
25,348	101.9	4,051	135.7	13,721	109.8	13,743	98.2
339,140	104.0	51,807	112.2	176,430	133.4	132,275	97.4
38,088	101.0	9,527	103.4	33,190	100.5	23,168	100.3
75,834	103.5	29,340	106.6	110,027	109.9	22,448	97.0
213,212	101.0	35,055	106.2	119,112	97.7	66,462	96.2
64,960	106.4	9,005	111.8	31,966	104.3	19,217	96.0
16,763	95.3	7,695	100.0	30,472	97.3	2,702	84.9

(トン)		販売金額 (百万円)				月末在庫 (トン)	
1～4月累計	前年同期比 (%)	2026年4月	前年同月比 (%)	1～4月累計	前年同期比 (%)	2026年4月	前年同月比 (%)
96,173	96.7	25,968	104.5	91,404	55.1	20,255	106.0
91,010	97.6	25,176	105.3	88,207	54.4	18,176	105.9
20,267	93.3	4,383	98.0	15,417	94.9	6,005	112.0
6,330	104.9	1,569	111.5	5,297	107.1	1,126	95.2
3,476	99.7	1,010	108.3	3,354	31.0	955	133.2
48,454	96.8	8,691	106.0	30,093	30.8	6,880	104.7
12,483	104.5	9,523	107.1	34,046	105.2	3,210	96.4
5,163	82.2	792	84.1	3,197	86.1	2,079	106.8
6,676	97.5	822	102.8	2,901	103.1	1,870	102.6

不織布

	生産量 (トン)				販売数量	
	2026 年 4 月	前年同月比 (%)	1 ~ 4 月累計	前年同期比 (%)	2026 年 4 月	前年同月比 (%)
不織布合計	22,341	101.2	85,182	97.5	21,932	106.6
乾式不織布	19,382	100.9	73,961	97.6	18,899	106.6
湿式不織布	2,959	102.9	11,221	96.6	3,033	106.7
用途別生産内訳	衣料用	86	71.1	452	121.2	
	車両用	3,345	106.4	13,176	99.8	
	その他の産業用	4,762	95.2	19,807	96.6	
	土木・建築用	1,419	123.2	5,316	114.8	
	農業・園芸用	100	101.0	442	81.4	
	生活関連用	5,893	99.0	22,216	94.3	
	医療・衛生用	5,818	102.1	20,280	96.4	
	その他用	919	100.9	3,496	98.9	

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026 年 4 月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

粘着テープ・シート類

	出荷数量 (平方 m)				出荷金額 (千円)			
	2026 年 4 月	前年同月比 (%)	1 ~ 4 月累計	前年同期比 (%)	2026 年 4 月	前年同月比 (%)	1 ~ 4 月累計	前年同期比 (%)
粘着テープ・シート合計	84,815,830	113.6	292,236,303	104.6	11,018,203	104.3	37,717,439	92.8
粘着テープ類小計	81,537,111	113.8	280,354,989	104.6	10,565,352	104.0	36,101,385	92.2
紙	34,925,091	116.1	117,607,673	107.3	2,228,542	121.2	7,461,055	108.5
布	11,764,100	105.9	41,594,879	109.0	1,952,344	108.0	6,860,425	108.7
フィルム	30,779,425	117.1	106,438,570	104.6	4,145,748	99.1	13,779,089	87.3
特殊	4,068,495	97.3	14,713,869	79.7	2,238,718	96.1	8,000,816	78.6
粘着シート類	3,278,719	110.0	11,881,314	105.2	452,850	112.2	1,616,054	108.5

出所：日本粘着テープ工業会、累計は編集スタッフが計算した

ポリプロピレンフィルム

	出荷量 (トン)			
	2026 年 4 月	前年同月比 (%)	1 ~ 4 月累計	前年同期比 (%)
OPP フィルム合計	21,140	112.7	71,774	104.9
内需計	20,817	111.9	70,648	104.5
食品	16,879	111.5	57,201	104.3
繊維・雑貨	1,243	107.9	4,549	104.3
工業用・その他	2,695	116.4	8,898	105.7
輸出	323	216.8	1,126	138.0
CPP フィルム合計	14,987	108.9	52,514	104.8
内需計	14,788	109.1	51,373	104.4
食品	12,686	109.4	44,317	104.8
工業用	585	117.0	1,752	96.1
繊維・雑貨・その他	1,517	104.0	5,304	105.2
輸出	199	97.1	1,141	128.2

出所：日本ポリプロピレンフィルム工業会、累計は編集スタッフが計算した

アルミ箔

	数量	
	2026 年 4 月	前年同月比 (%)
生産数量 (トン)	7,598	85.6
販売数量 (トン)	7,622	88.4
販売金額 (百万円)	10,978	101.7
月末在庫 (トン)	4,922	116.6

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026 年 4 月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

(トン)		販売金額 (百万円)				月末在庫 (トン)	
1～4月累計	前年同期比 (%)	2026年4月	前年同月比 (%)	1～4月累計	前年同期比 (%)	2026年4月	前年同月比 (%)
81,448	97.3	18,252	106.3	67,007	97.8	30,474	103.1
70,314	97.1	14,743	105.6	54,076	97.0	23,913	102.5
11,134	98.1	3,509	109.3	12,931	101.4	6,561	105.4

印刷加工機械

	生産台数 (数量)		生産金額 (百万円)	
	2026年4月	前年同月比 (%)	2026年4月	前年同月比 (%)
印刷機械	1,374	85.7	8,660	101.6
平版小計	34	85.0	4,208	103.8
長巻式	0	0.0	0	0.0
枚葉式	34	87.2	4,208	105.0
凹版	×	—	×	—
その他	×	—	×	—
製版機械	22	57.9	274	80.8
紙工機械合計	15	78.9	2,740	104.8
段ボール製造用機械	3	75.0	317	30.2
その他	12	80.0	2,423	154.9

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026年4月）、×は秘匿、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

印刷機械輸出入

		台数 (数量)		金額 (千円)	
		2026 年 4 月	前年同月比 (%)	2026 年 4 月	前年同月比 (%)
輸 入	オフセット (巻紙式)	0	－	0	－
	オフセット (その他)	0	－	0	－
	凸版	0	－	0	－
	グラビア	0	－	0	－
	フレキシ	1	100.0	85,930	576.4
	インクジェット	999	33.3	700,507	202.2
輸 出	オフセット (巻紙式)	30	1500.0	231	0.2
	オフセット (その他)	76	60.8	5,312,678	95.2
	凸版	0	－	0	－
	グラビア	1	100.0	18,780	9.2
	フレキシ	0	－	0	－
	インクジェット	1,334	64.4	2,528,295	97.6

出所：日本貿易月表（2026年4月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

ポリオレフィンフィルム

	出荷数量 (トン)			
	2026年4月	前年同月比 (%)	1～4月累計	前年同期比 (%)
合計	30,003	106.6	109,573	99.9
LDPE 合計	20,181	106.9	75,200	99.9
HDPE 合計	9,564	107.0	33,477	97.0
IPP フィルム	258	94.5	896	112.3

出所：日本ポリオレフィンフィルム工業組合、累計は編集スタッフが計算した



紙・印刷・プラスチック・ゴム製品統計月報に見る包装印刷

印刷の製品別生産金額推移（百万円）

	出版	商業	証券	事務用	包装	建装材	その他	合計
2023年 1月	4,230	9,036	298	3,682	6,934	1,209	1,324	26,713
2月	4,351	10,053	420	3,522	7,641	1,268	1,416	28,671
3月	4,945	13,491	293	4,613	8,139	1,326	1,730	34,537
4月	4,382	10,439	416	4,089	8,412	1,350	1,711	30,799
5月	4,037	9,856	481	3,804	7,161	1,182	1,455	27,976
6月	4,359	10,436	685	4,611	7,746	1,282	1,616	30,735
7月	4,254	9,333	689	3,789	7,905	1,341	1,617	28,928
8月	3,998	9,099	553	3,684	6,974	1,157	1,415	26,880
9月	4,335	10,535	502	3,957	7,981	1,319	1,731	30,360
10月	4,339	10,487	520	4,236	7,885	1,275	1,649	30,391
11月	4,317	11,105	464	3,876	7,901	1,404	1,647	30,714
12月	4,324	10,896	491	3,913	7,841	1,258	1,632	30,355
2023年 合計	51,871	124,766	5,812	47,776	92,520	15,371	18,943	357,059
2023年 平均	4,323	10,397	484	3,981	7,710	1,281	1,579	29,755
2024年 1月	3,938	9,243	368	3,577	6,697	1,188	1,369	26,380
2月	4,232	10,492	372	3,409	7,462	1,307	1,477	28,751
3月	4,522	12,516	452	4,142	7,771	1,497	1,460	32,360
4月	4,174	10,369	441	3,907	8,242	1,404	1,615	30,152
5月	3,827	10,094	482	3,834	7,348	1,302	1,606	28,493
6月	4,223	10,410	627	4,370	8,073	1,403	1,590	30,696
7月	4,240	9,635	730	3,746	8,335	1,467	1,703	29,856
8月	4,029	9,153	542	3,578	6,980	1,297	1,413	26,992
9月	4,183	10,294	564	3,841	8,295	1,346	1,549	30,072
10月	4,352	10,558	614	4,060	8,287	1,478	1,586	30,935
11月	4,361	10,812	531	3,845	8,506	1,392	1,628	31,075
12月	4,325	10,892	510	4,275	8,637	1,343	1,572	31,554
2024年 合計	50,406	124,468	6,233	46,584	94,633	16,424	18,568	357,316
2024年 平均	4,201	10,372	519	3,882	7,886	1,369	1,547	29,776
2025年 1月	3,865	9,147	439	3,543	6,979	1,325	1,400	26,698
2月	3,976	10,534	381	3,540	7,994	1,422	1,499	29,346
3月	4,188	12,862	448	4,504	8,182	1,483	1,524	33,191
4月	3,718	10,274	427	4,033	8,735	1,438	1,587	30,212
5月	3,703	10,078	414	4,114	7,899	1,393	1,541	29,142
6月	3,920	10,610	348	4,854	8,588	1,440	1,642	31,402
7月	3,906	9,432	547	4,195	8,655	1,421	1,731	29,887
8月	3,692	8,886	524	3,622	7,296	1,190	1,356	26,566
9月	3,893	10,290	664	4,065	8,475	1,333	1,565	30,285
10月	4,093	10,692	596	4,598	8,539	1,477	1,669	31,664
11月	4,060	10,587	560	3,887	8,570	1,394	1,569	30,627
12月	4,154	10,366	534	4,368	8,415	1,319	1,514	30,670
2025年 合計	47,168	123,758	5,882	49,323	98,327	16,635	18,597	359,690
2025年 平均	3,931	10,313	490	4,110	8,194	1,386	1,550	29,974
2026年 1月	3,535	8,924	520	4,136	7,545	1,218	1,439	27,317
2月	3,689	10,214	473	3,777	8,018	1,273	1,444	28,888
3月	4,041	12,630	451	4,783	8,308	1,241	1,628	33,082
4月	3,594	10,376	429	4,615	9,172	1,231	1,634	31,051
5月	3,446	9,429	433	4,368	8,238	1,312	1,439	28,665



紙・印刷・プラスチック・ゴム製品統計月報に見る包装印刷

印刷の製品別生産金額比率（％）

	出版	商業	証券	事務用	包装	建装材	その他	合計
2023年 1月	15.8	33.8	1.1	13.8	26.0	4.5	5.0	100.0
2月	15.2	35.1	1.5	12.3	26.7	4.4	4.9	100.0
3月	14.3	39.1	0.8	13.4	23.6	3.8	5.0	100.0
4月	14.2	33.9	1.4	13.3	27.3	4.4	5.6	100.0
5月	14.4	35.2	1.7	13.6	25.6	4.2	5.2	100.0
6月	14.2	34.0	2.2	15.0	25.2	4.2	5.3	100.0
7月	14.7	32.3	2.4	13.1	27.3	4.6	5.6	100.0
8月	14.9	33.9	2.1	13.7	25.9	4.3	5.3	100.0
9月	14.3	34.7	1.7	13.0	26.3	4.3	5.7	100.0
10月	14.3	34.5	1.7	13.9	25.9	4.2	5.4	100.0
11月	14.1	36.2	1.5	12.6	25.7	4.6	5.4	100.0
12月	14.2	35.9	1.6	12.9	25.8	4.1	5.4	100.0
2023年 平均	14.5	34.9	1.6	13.4	25.9	4.3	5.3	100.0
	出版	商業	証券	事務用	包装	建装材	その他	合計
2024年 1月	14.9	35.0	1.4	13.6	25.4	4.5	5.2	100.0
2月	14.7	36.5	1.3	11.9	26.0	4.5	5.1	100.0
3月	14.0	38.7	1.4	12.8	24.0	4.6	4.5	100.0
4月	13.8	34.4	1.5	13.0	27.3	4.7	5.4	100.0
5月	13.4	35.4	1.7	13.5	25.8	4.6	5.6	100.0
6月	13.8	33.9	2.0	14.2	26.3	4.6	5.2	100.0
7月	14.2	32.3	2.4	12.5	27.9	4.9	5.7	100.0
8月	14.9	33.9	2.0	13.3	25.9	4.8	5.2	100.0
9月	13.9	34.2	1.9	12.8	27.6	4.5	5.2	100.0
10月	14.1	34.1	2.0	13.1	26.8	4.8	5.1	100.0
11月	14.0	34.8	1.7	12.4	27.4	4.5	5.2	100.0
12月	13.7	34.5	1.6	13.5	27.4	4.3	5.0	100.0
2024年 合計	14.1	34.8	1.7	13.0	26.5	4.6	5.2	100.0
	出版	商業	証券	事務用	包装	建装材	その他	合計
2025年 1月	14.5	34.3	1.6	13.3	26.1	5.0	5.2	100.0
2月	13.5	35.9	1.3	12.1	27.2	4.8	5.1	100.0
3月	12.6	38.8	1.3	13.6	24.7	4.5	4.6	100.0
4月	12.3	34.0	1.4	13.3	28.9	4.8	5.3	100.0
5月	12.7	34.6	1.4	14.1	27.1	4.8	5.3	100.0
6月	12.5	33.8	1.1	15.5	27.3	4.6	5.2	100.0
7月	13.1	31.6	1.8	14.0	29.0	4.8	5.8	100.0
8月	13.9	33.4	2.0	13.6	27.5	4.5	5.1	100.0
9月	12.9	34.0	2.2	13.4	28.0	4.4	5.2	100.0
10月	12.9	33.8	1.9	14.5	27.0	4.7	5.3	100.0
11月	13.3	34.6	1.8	12.7	28.0	4.6	5.1	100.0
12月	13.5	33.8	1.7	14.2	27.4	4.3	4.9	100.0
2025年 平均	13.1	34.4	1.6	13.7	27.3	4.6	5.2	100.0
	出版	商業	証券	事務用	包装	建装材	その他	合計
2026年 1月	12.9	32.7	1.9	15.1	27.6	4.5	5.3	100.0
2月	12.8	35.4	1.6	13.1	27.8	4.4	5.0	100.0
3月	12.2	38.2	1.4	14.5	25.1	3.8	4.9	100.0
4月	11.6	33.4	1.4	14.9	29.5	4.0	5.3	100.0
5月	12.0	32.9	1.5	15.2	28.7	4.6	5.0	100.0



紙・印刷・プラスチック・ゴム製品統計月報に見るグラビア印刷

印刷の版式別生産金額推移（百万円）

	活版	オフセット	グラビア	スクリーン	フレキシ	その他	合計
2023年 1月	2,236	16,400	5,351	205	330	2,191	26,713
2月	2,550	17,744	5,770	216	407	1,984	28,671
3月	2,700	22,085	6,588	251	407	2,506	34,537
4月	3,042	18,741	6,113	261	425	2,217	30,799
5月	2,389	17,505	5,492	232	321	2,037	27,976
6月	2,615	18,976	5,722	277	424	2,721	30,735
7月	2,733	17,615	5,760	293	426	2,101	28,928
8月	2,606	16,708	5,002	254	379	1,931	26,880
9月	2,869	18,873	5,875	275	423	2,045	30,360
10月	2,700	18,752	5,837	264	463	2,375	30,391
11月	2,865	19,078	5,861	271	465	2,174	30,714
12月	3,025	18,913	5,493	273	441	2,210	30,355
2023年 合計	32,330	221,390	68,864	3,072	4,911	26,492	357,059
2023年 平均	2,694	18,449	5,739	256	409	2,208	29,755
2024年 1月	2,165	16,310	5,107	221	324	2,253	26,380
2月	2,470	18,159	5,580	239	324	1,979	28,751
3月	2,643	20,789	6,042	210	349	2,327	32,360
4月	3,054	18,358	5,984	253	373	2,130	30,152
5月	2,377	17,736	5,800	218	312	2,050	28,493
6月	2,721	18,686	6,047	249	335	2,658	30,696
7月	2,814	17,984	6,345	257	364	2,092	29,856
8月	2,581	16,602	5,219	199	272	2,119	26,992
9月	2,844	18,278	6,130	260	327	2,233	30,072
10月	2,636	18,688	6,456	250	366	2,539	30,935
11月	3,014	19,004	6,214	273	366	2,204	31,075
12月	3,194	19,179	6,092	245	351	2,493	31,554
2024年 合計	32,513	219,773	71,016	2,874	4,063	27,077	357,316
2024年 平均	2,709	18,314	5,918	240	339	2,256	29,776
2025年 1月	2,143	16,114	5,516	247	345	2,333	26,698
2月	2,550	18,061	6,046	225	341	2,123	29,346
3月	2,572	21,242	6,120	246	343	2,668	33,191
4月	2,977	18,239	6,098	262	352	2,284	30,212
5月	2,452	18,051	5,792	245	330	2,272	29,142
6月	2,729	18,852	6,115	270	375	3,061	31,402
7月	2,774	17,803	6,232	267	398	2,413	29,887
8月	2,545	16,340	5,094	237	290	2,060	26,566
9月	2,865	18,618	5,890	278	407	2,227	30,285
10月	2,839	19,114	6,270	306	415	2,720	31,664
11月	2,929	18,572	6,023	262	389	2,452	30,627
12月	3,073	18,740	5,745	277	367	2,468	30,670
2025年 合計	32,448	219,746	70,941	3,122	4,352	29,081	359,690
2025年 平均	2,704	18,312	5,912	260	363	2,423	29,974
2026年 1月	2,255	16,597	5,327	228	336	2,574	27,317
2月	2,601	17,985	5,308	232	342	2,420	28,888
3月	2,567	21,275	5,843	236	369	2,792	33,082
4月	2,942	18,484	6,140	208	375	2,902	31,051
5月	2,606	17,306	5,870	201	359	2,323	28,665



紙・印刷・プラスチック・ゴム製品統計月報に見るグラビア印刷

印刷の版式別生産金額比率推移 (%)

	活版	オフセット	グラビア	スクリーン	フレキシ	その他	合計
2023年 1月	8.4	61.4	20.0	0.8	1.2	8.2	100.0
2月	8.9	61.9	20.1	0.8	1.4	6.9	100.0
3月	7.8	63.9	19.1	0.7	1.2	7.3	100.0
4月	9.9	60.8	19.8	0.8	1.4	7.2	100.0
5月	8.5	62.6	19.6	0.8	1.1	7.3	100.0
6月	8.5	61.7	18.6	0.9	1.4	8.9	100.0
7月	9.4	60.9	19.9	1.0	1.5	7.3	100.0
8月	9.7	62.2	18.6	0.9	1.4	7.2	100.0
9月	9.4	62.2	19.4	0.9	1.4	6.7	100.0
10月	8.9	61.7	19.2	0.9	1.5	7.8	100.0
11月	9.3	62.1	19.1	0.9	1.5	7.1	100.0
12月	10.0	62.3	18.1	0.9	1.5	7.3	100.0
2023年 平均	9.1	62.0	19.3	0.9	1.4	7.4	100.0
	活版	オフセット	グラビア	スクリーン	フレキシ	その他	合計
2024年 1月	8.2	61.8	19.4	0.8	1.2	8.5	100.0
2月	8.6	63.2	19.4	0.8	1.1	6.9	100.0
3月	8.2	64.2	18.7	0.6	1.1	7.2	100.0
4月	10.1	60.9	19.8	0.8	1.2	7.1	100.0
5月	8.3	62.2	20.4	0.8	1.1	7.2	100.0
6月	8.9	60.9	19.7	0.8	1.1	8.7	100.0
7月	9.4	60.2	21.3	0.9	1.2	7.0	100.0
8月	9.6	61.5	19.3	0.7	1.0	7.9	100.0
9月	9.5	60.8	20.4	0.9	1.1	7.4	100.0
10月	8.5	60.4	20.9	0.8	1.2	8.2	100.0
11月	9.7	61.2	20.0	0.9	1.2	7.1	100.0
12月	10.1	60.7	19.4	0.8	1.1	7.9	100.0
2024年 平均	9.1	61.5	19.9	0.8	1.1	7.6	100.0
	活版	オフセット	グラビア	スクリーン	フレキシ	その他	合計
2025年 1月	8.0	60.4	20.7	0.9	1.3	8.7	100.0
2月	8.7	61.5	20.6	0.8	1.2	7.2	100.0
3月	7.7	64.0	18.4	0.7	1.0	8.0	100.0
4月	9.9	60.4	20.2	0.9	1.2	7.6	100.0
5月	8.4	61.9	19.9	0.8	1.1	7.8	100.0
6月	8.7	60.0	19.5	0.9	1.2	9.7	100.0
7月	9.3	59.6	20.9	0.9	1.3	8.1	100.0
8月	9.6	61.5	19.2	0.9	1.1	7.8	100.0
9月	9.5	61.5	19.4	0.9	1.3	7.4	100.0
10月	9.0	60.4	19.8	1.0	1.3	8.6	100.0
11月	9.6	60.6	19.7	0.9	1.3	8.0	100.0
12月	10.0	61.1	18.7	0.9	1.2	8.0	100.0
2025年 平均	9.0	61.1	19.7	0.9	1.2	8.1	100.0
	活版	オフセット	グラビア	スクリーン	フレキシ	その他	合計
2026年 1月	8.3	60.8	19.5	0.8	1.2	9.4	100.0
2月	9.0	62.3	18.4	0.8	1.2	8.4	100.0
3月	7.8	64.3	17.7	0.7	1.1	8.4	100.0
4月	9.5	59.5	19.8	0.7	1.2	9.3	100.0
5月	9.1	60.4	20.5	0.7	1.3	8.1	100.0